

レイチェル・カーソン生誕107年の集い

私たちの会は、レイチェル・カーソン(1907-1964)の著作、思想、生き方に学び環境を大切にします。とりわけ未来をになう子どもたちに自然の不思議さに目をみはる感性(センス・オブ・ワンダー)が育まれるように、多くの市民と共に環境問題を知り・考えるための活動を行っています。

生誕107年、「沈黙の春」出版から52年の“この春”、レイチェル・カーソンが私たちに残してくれたものは、ますます重要になってきました。レイチェル・カーソンが伝えたかったこと。今を生きるヒントがそこにあるのかもしれませんが。どうぞお気軽にご参加ください。

◆ 記念講演第1部 「アイヌモシリ紀行」 13:30～15:30

はやかわ ていじ
早川 禎治 氏

【経歴】

1939年 北海道生まれ。日本山岳会終身会員。

【主な著書】

「カイルス巡礼ーインダスとガンジスの内奥をめぐる」、「手稲山紀行ー傷ついた自然の側から」、「知床記ー自然と人との出会いについて考える」、「バングラデッシュの犁農耕文化調査と研究」

【著書「アイヌモシリ紀行ー松浦武四郎の『東西蝦夷日誌』をいく」の読後評】

著者が恵山から徒歩で根室まで歩くという勇気と実行に驚いた。私の現役時代、ヘリコプターパイロットのために北海道周辺海岸の第1種漁港を記入した地図を作成した。まだGPSなどなく、海難救助に漁港名と写真が必要だった。その漁港名が次々と出てきたのが懐かしい。読んでいく内に明治いや江戸時代にアイヌモシリに足を踏み入れていた先人たちになった様な錯覚を覚えた。武四郎と同行二人の気分にもなった。広い北海道の海岸線は、まだまだ歩くに値する土地柄なのですね。(沼田 勇美)



◆ 記念講演第2部 「地球のしくみ、いのちの営みと自然エネルギー」 18:30～20:00

やまがた さだむ
山形 定 氏

NPO 法人北海道新エネルギー普及促進協会(NEPA)理事長
北海道大学大学院工学研究院大気環境保全工学研究室

【経歴】

1961年 山形県山形市生まれ
1984年 山形大学工学部応用化学科卒業
1989年 東京大学大学院工学系研究科
化学エネルギー工学専攻博士課程修了
1989年 北海道大学工学部衛生工学科助手

【主な著書】

「エアロゾル用語集」(共著)、「健康と環境の工学」(共著)、「環境を守るための自然エネルギー読本」(共著)、「光も風も水も氷もバイオもみんな宝ものー自然エネルギー入門」(共著)、「エアロゾルの大気環境影響」(共著)、「大気と微粒子の話 エアロゾルと地球環境」(共著)、「自然エネルギーと環境の事典」(共著)



NEPA主催 自然エネルギー実践講座2013[第6回ー太陽光発電見学会2013.10.12]で訪れた札幌市中央卸売市場屋上の太陽光パネルを背景に

2014年5月22日(木) 13:00～20:30 申し込み不要・入場無料

北海道大学 遠友学舎 札幌市北区北18条西7丁目

主催:レイチェル・カーソン北海道の会

後援:札幌市・札幌市教育委員会

問合せ:沼田 ☎080-3265-4382 yummie624@hotmail.co.jp

プログラム

総合司会 米道 博

- 13:00～13:30 開会の挨拶 沼田 勇美(共同代表)
レイチェル・カーソン生誕 107年に当って 近藤 務(共同代表)
- 13:30～15:30 記念講演第1部 早川 禎治氏
「アイヌモシリ紀行」
- 15:30～16:30 遺稿集『失われた森』の学習を通して学んだ1年間の成果
第2部-9から第3部-20まで、各自が学習した内容を簡素に発表します
- 16:30～ 「レイチェル・カーソンの歩んだ道」パネル展示と説明ならびに懇談
- 18:30～20:00 記念講演第2部 山形 定氏
「地球のしくみ、いのちの営みと自然エネルギー」
- 20:15～ 閉会の挨拶 近藤 務(共同代表)

会場の案内図 地下鉄南北線・北18条駅下車西に向かって徒歩8分

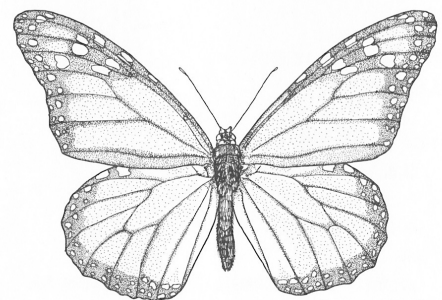


「レイチェル・カーソン北海道の会」からのお知らせ

私たちは、レイチェル・カーソンの生誕 100 年の 2007 年 5 月から毎年、生誕祭としてパネル展と外部講師による記念講演を開催し、環境問題を知り・考えています。

また、8 月を除く毎月第 4 木曜日にレイチェル・カーソン著作の定例学習会を行っています。「沈黙の春」からはじめて現在は「失われた森」を学習中です。同女史の他の著作、思想、生き方も学んでいます。

定例学習会は北海道大学遠友学舎で 15:00～17:00 に開催していますので、一緒に学習をしてみませんか。会の活動状況は [レイチェル・カーソン北海道の会] のホームページ <http://gisjirou.blog.fc2.com> で見られます。



<モナーク蝶・オオカバマダラ>

北アメリカ大陸を数千 km に渡り移動する蝶であり、レイチェル・カーソンは自身の役割と余命を重ね合せみっていました。